

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

## マイコプラズマ・シノビエ急速凝集反応用菌液

(マイコプラズマ・シノビエ感染症急速診断用菌液)

### 【製法及び性状】

本菌液はマイコプラズマ・シノビエ SG 株の液体培地培養菌を集菌し、得られた菌体を規定濃度になるようにリン酸緩衝食塩液に浮遊した後、チメロサルで不活化し、クリスタルバイオレットで染色したものである。静置の状態では沈殿を生じるが、振り混ぜると紫色の均質な懸濁液となる

### 【成分及び分量】

菌液 1 本 (5mL) 中

マイコプラズマ・シノビエ SG 株死菌

約  $5 \times 10^{10}$  個

チメロサル

0.5mg 以下

クリスタルバイオレット (JIS 試薬特級)

0.5mg

リン酸緩衝食塩液

残量

### 【効能又は効果】

マイコプラズマ・シノビエに対する凝集抗体の検出

### 【用法及び用量】

#### 1. 使用法

鶏の血液を被検材料として用いる全血法では菌液 2 滴 (約 0.06mL) と血液 1 滴 (約 0.03mL) を、血清を被検材料として用いる血清法では菌液と血清の各 1 滴 (各約 0.03mL) を反応用ガラス板上で混合し、ガラス板を前後左右に傾けながら反応を観察する。

#### 2. 判定

菌液と血液あるいは血清を混合してから、全血法では 2 分以内に、血清法では 1 分以内に紫色の凝集顆粒が現われたものを陽性とする。血清法で 1~2 分に凝集顆粒が現われたものを疑似とし、両法とも 2 分間観察しても反応が現れないものを陰性とする。

### 【使用上の注意】

#### (一般的注意)

1. 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
2. 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

#### (使用時の注意)

1. 検査は四季を通じ 20~25℃のもとで行われるよう留意し、戸外では直射日光下やほこりの多い所は避けること。
2. 血清を被検材料とする場合は新鮮なものを用い、凍結又は長期保存のものは用いないこと。
3. 抗原は沈殿するので使用前及び使用中も、よく振り混ぜること。

### 【取扱い上の注意】

1. 容器は破損するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
2. 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
3. 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
4. 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので、注意すること。
5. 開封した抗原は速やかに使用すること。
6. 使用済みの容器は適切に処分すること。

### 【保管上の注意】

1. 小児の手の届かない所に保管すること。
2. 直射日光、加温又は凍結は本剤の品質に影響を与えるので避けること。

[貯法及び有効期間]

1. 遮光して2～5℃に保存する。
2. 有効期間は製造完了の日の属する月の翌月から1年間である。

[包 装]

1本 5mL

[2003年6月改訂]

日 生 研 株 式 会 社  
東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

0404SK5